

今月の一言

キーワード：絆をつなぐ

近年、非常に誤った考え方が出てきて、人間は知識や技能だけ身につければ、一生を安泰に暮らせるというふうになりました。頭にどんどん知識だけ詰め込み、技術的なことだけ覚えると、人間的な感情、感性が薄れてきて、人間の縁というのができにくくなってきたことです。これは間違っていると考えます。やはり、自分の手足を使って人の縁をつかむことが大事だと思います。 中略

親子の縁も小学生の四年生以上になると、父親と全然会話もしない子供が何パーセントかいるそうです。それが五年生、六年生、中学生となるにしたがって、そのパーセンテージが高くなっていくわけです。これでは、いくら立派な知識や技術を身につけても、幸せな人生にはならないと思います。やはり、人との縁はつなごうという意思と努力がないとつなげないものです。

その縁とか、いいことというのは、必ず前からきます。人間にとって悪いことは後ろから忍び足でやってきて、後ろから覆いかぶさるようにきて避けられません。一方、いい縁、いいことというのは、前から正々堂々と胸を張ってきます。ただ、それが見えませんから、前から胸を張って正々堂々とくるものをつかめるかどうかです。つかめないとしたら、それはそういうものを感じないということになります。どんな小さなことでもものを感じる鋭い感性を持っていただきたいと思います。その感性は、ただ頭の勉強だけでは養えません。 著書：凡事徹底 著者：鍵山 秀三郎

いつも前向きに、物事に関心を持って行動！

2013年5月24日

さいのう とおる

追伸：寒暖の差が激しい毎日ですが、熱中症や風邪に留意しましょう。